

企画財政委員会

委員長 村上 常雄

■コミュニティ助成事業補助金について

問 採択要件について

答 この事業は、財団法人自治総合センターが、コミュニティの健全な発展を図ることと、宝くじの普及広報事業を行うためコミュニティ活動に必要な設備等の整備について助成を行っている。

採択基準は、事業費が100万円から250万円の範囲内で、宝くじの効果が発揮できるものや国からの補助金を受けていないもの、整備後の施設や備品等が地域のコミュニティ組織等により維持管理できるものとされている。

具体的な事業内容は、一般コミュニティ事業として、獅子舞や太鼓の備品整備、放送施設の整備。緑化推進事業としては、花壇の造成、広場等への植栽等への助成。自主防災組織育成事業として、無線機や給水タンク等の防災備品の整備に対して助成される。

市民福祉委員会

委員長 向井 敏憲

■子育て支援に対する具体的な取組みについて

説明 昨年3月に「大洲市次世代育成支援行動計画」を策定し、現在子育て支援に努めている。

具体的には、現在移転改築を進めている大和保育所（長浜地区）には子育て支援センターを併設するとともに、延長保育・0歳児保育を実施する予定で、これによって子育て支援センターが市内2カ所

に、また延長保育も3カ所となり保護者のより多様な就労形態などに対応できるものと考えている。

また、一時的な保育事業、障害児保育事業なども積極的に進めていきたいと考えている。

その他として、市外の保育所に入所を希望される方には、それぞれの市町村と連絡調整を行いながら、入所できるよう対応するとともに、当市以外の児童も、市内に空いている保育所があれば入所できるように、柔軟な対応を図ってきたいと考えている。

■後期高齢者医療広域連合について

問 メリット及びデメリットについて

答 メリットは、県下の全市町で組織運営することになるため、財政基盤が大きくなり保険財政の安定化が見込まれる。また、医療費水準や保険料水準に格差があつても、中長期的な視点に立つて、被保険者の負担の標準化を図ることができるほか、事務の効率化や経費を削減することができるなどが挙げられる。

デメリットは、自治体での医療費の状況に見合わない、高い保険料を支払う自治体が出てくる場合が考えられるが、全体的に見れば、そうしたリスクの軽減を図ることができると考えている。

建設農林委員会

委員長 宮本 増憲

■椎茸生産振興事業補助金について

説明 この事業は、低迷している椎茸生産の拡大と産地化を図ることを目的として、平成17年度から平成21年度までの5カ年計画で、椎茸菌の購入費に對しその一部に助成を行っており、今回の補正は今年度の計画植菌数が実績により154万個追加となったため補助金の追加を行うものである。

問 補助金の見直しについて
早急に検討しその結果を周知すべきではないか。
また大洲市の椎茸は全国有数の生産量を誇りブランド化もされているので、更に振興を図っていく必要があるのではないか。

答 県下の市町及び全国の椎茸産地の事例も参考にしながら検討を進めているが、この補助金ができるだけ多くの生産者に行き渡るよう採択要件は現行どおりとし、単価の見直しで対応を考えている。

大洲市の農業基本構想の中で、椎茸は山間部における基幹作物という位置づけをしており、全国で4番目の生産量を誇っている。

このため厳しい財政状況ではあるが、この補助事業により少しでも市内の椎茸生産者の意欲増進と経営安定につながるよう努めたいと考えている。



完成間近の大和保育所



全国有数の生産を誇る大洲市の椎茸栽培